ものかたり

「うるしに触れてみよう！－拭きうるし編－」
2017.6.25 Sun. 1:00pm- / 2:30pm-

○ 原則小学 4 年生～6 年生及び中学生。各回 10 名程度 。
※ 参加費おひとり ¥1,000・要事前申込み

◉古本および古物・古材
◉暮らしの道具
◉東北生まれの商品
◉展覧会やイベントほか
◉その他、あなたに役立つもの

時間　午前一〇時～午後七時（不定休）
電話　〇一八－八〇二－〇〇八九
住所　〒〇一八－一七〇五
秋田県南秋田郡五城目町字上町三九

www.mono-katari.jp

ものをして用を弁ずるなかれ

ものかたりは、住み手が離れて久しい家を店舗として改修し、古本や古物・古材を販売しています。しかし、この店は古本屋でなければ、骨董屋でもありません。

ものづくりに携わる方々の技、彼らとともに手がける新たなプロダクトをお披露目する場、土地に根ざした様々な表現活動を支える場でもあろうとしています。

土地において住む人々の知恵や工夫を養った、あるいは、それによって生み出された有形無形の「もの」に着目し、取り扱いたいと考えます。

多様な自然を背景にものづくりが栄え、豊かな暮らしが当たり前にある土地で、その価値に目を向けるには、人がそれを物語るのでなく、もの自らの語りに耳を傾ける場所が必要です。

用を弁ずるとは用を済ますの意。

たとえば美しい器の由緒に満足しながら食器として使用するより、「美味しい料理を盛り付けなければこの器は満足しないのでは?」ととらえてみる。食卓まわりや食事の時間をデザインし直してみる。

丁寧に暮らし、よく生きようとするあなたのために、ものかたりの聴こえる空間をご用意しました。

店主

「うるしに触れてみよう！－拭きうるし編－」

割れた食器を直したり、傷や汚れを付きにくくしたり、オシャレな小道具に変身したり。漆（うるし）という縄文時代の発明品は、現在も、当たり前の暮らしを豊かにしてくれています。今回はせんせいと、自分の名前や、好きなイラストを彫った木を透明な生の漆を重ねるように何度も拭き上げる「拭き漆（ふきうるし）」という技にチャレンジします。

○ LANDPROTECT ランドプロテクト　http://landprotect.jp
○「こども芸術の村」プロジェクト　http://av4c.jp

共催　みちひらき LLC　こどもげいじゅつのむら
協力　LANDPROTECT　佐藤木材容器

島守宏和 ／ 漆塗り作家

青森県八戸市生まれ。長岡造形大学にて工芸デザインコース彫金を専攻後、津軽塗技術研修所に学び、2011年よりオリジナルブランド LANDPROTECT をスタート。同年、ナガオカケンメイ氏キュレートによる企画展「NIPPON VISION 4」に出品。さらに同企画「NIPPON の 47 人」（2013 年）に選出され巡回展に出品。新たな津軽塗の魅力を発信した。企画展、グループ展、クラフトフェアなど数多く参加。BS プミアム「ひらり東北の旅」にて津軽塗リングが紹介されるなど新しい取り組み、そしてデザインが注目されている。

開催日時

2017 年 6 月 25 日（日）
① 13:00-14:30
② 14:30-16:00
※ 2 部入替制。各回 30 分前より受付開始。

参加対象

原則小学 4 年生～6 年生及び中学生。各回 10 名程度。

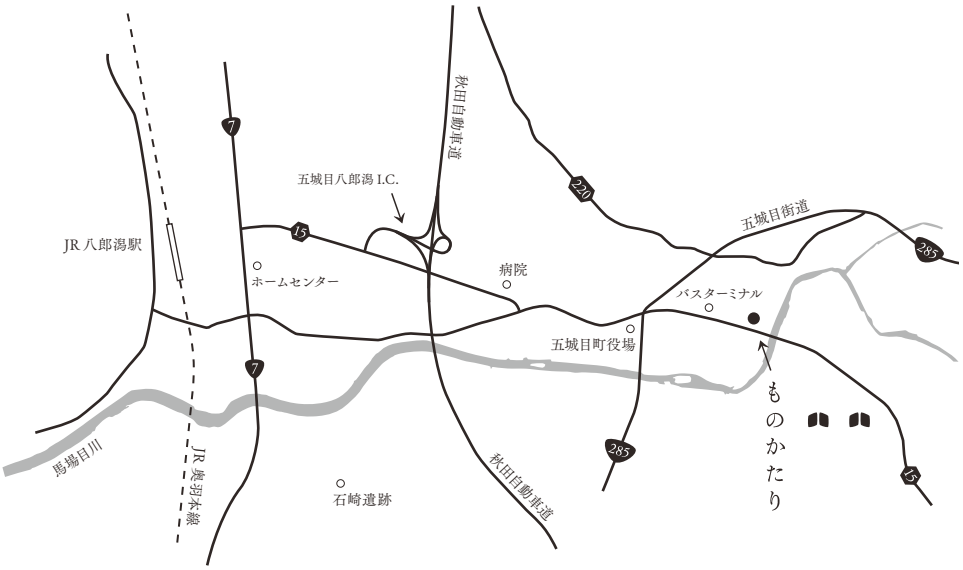
参加費

¥1,000 / 1名

ご参加にあたって

○ 今回、生の漆を使用します。漆に触れた際、かぶれる可能性がありますので、ご注意ください。
○ ワークショップに必要なものは、こちらでご用意いたします。

申し込み

ものかたり
☎ 018-802-0089　✉ info@mono-katari.jp
または、
Facebook「みちひらき」ページよりお申し込みください。

○飛行機でお越しの方
↓秋田空港より秋田自動車道経由にて 約五〇分
○鉄道でお越しの方
↓ＪＲ奥羽本線「八郎潟駅」よりタクシーにて 約一五分
○車でお越しの方
↓秋田自動車道「五城目八郎潟ＩＣ」から
県道十五号線経由にて 約一〇分
○バスでお越しの方
↓秋田駅西口より五城目線にて 約七五分
「五城目バスターミナル」下車 徒歩約五分